

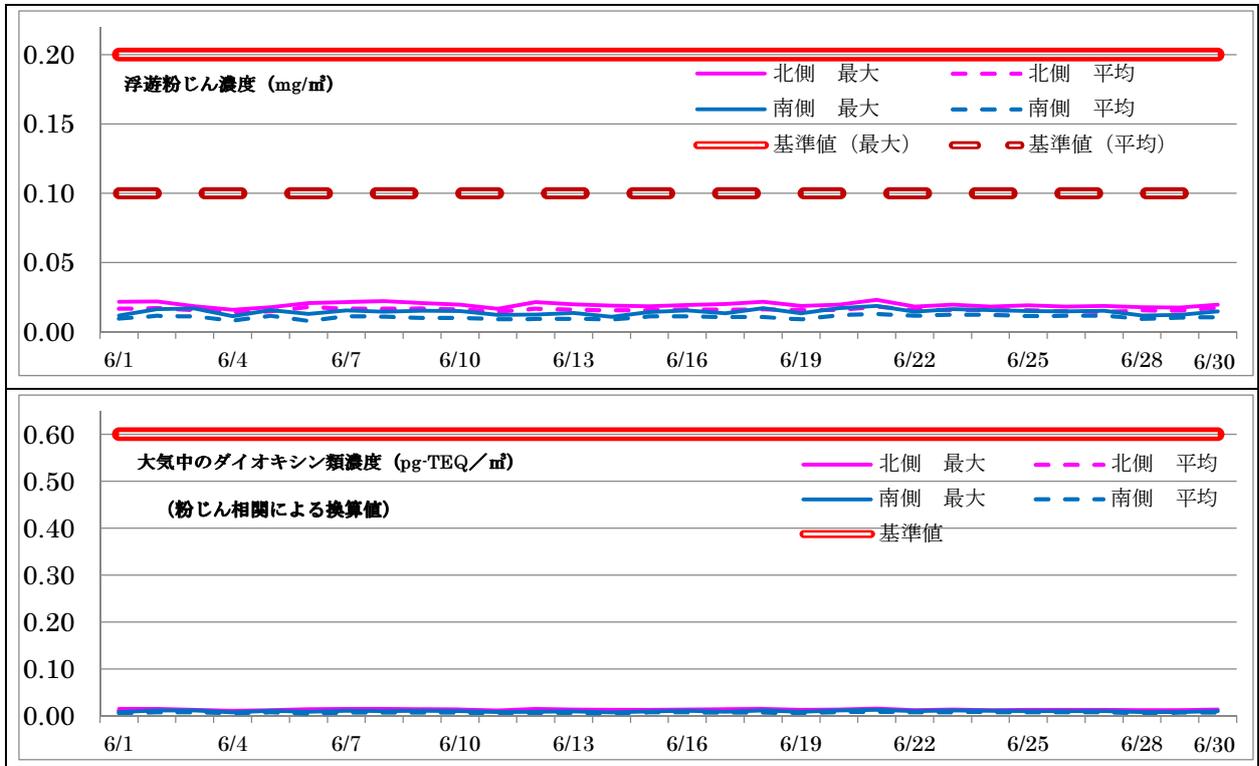
## 旧野洲クリーンセンター解体工事の進捗について

### 1. 現在の進捗状況

昨年11月から工事に着手した野洲クリーンセンター解体工事は、除染作業が終了し、屋内設備工事の解体に着手しました。6月末時点で、機械設備の解体が完了しました。また、煙突解体は、高さ50mの内、地上約20mまで解体が進んでいます。6月末時点での進捗率は50%です。（計画では56%）



工事現場では粉じん、騒音及び振動の値を常時測定して監視しています。浮遊粉じん濃度とダイオキシン類濃度(粉じん濃度との相関による換算値)の測定結果は下のグラフのとおりでした。また、騒音と振動についても基準値以下でした。



## 2. 除染作業の結果

焼却工場棟の窓及び換気扇等の通気部にポリシート及びコーキング材により密閉養生を行いました。また、屋外設備は、足場を設置し、内側にポリシートを張り付けて密閉養生を行いました。建屋及び屋外設備の外部足場外面には、防音シートを張り付けて建屋全体を覆い養生しました。(屋上もシートにて養生)

除染作業は、負圧集じん機にて建屋内の気圧を負(マイナス)圧として、外の気圧より低くすることにより、建屋(養生)内の空気が外に漏れないように作業を行いました。

除染作業に関しては、高圧洗浄機を用いて、ダイオキシン類が付着している機械設備の洗浄を行い、バキューム車により洗浄水の吸引を行いました。吸引後の洗浄水は、仮排水処理設備を用いて適正に水処理を行いながら、循環させて、洗浄水として再利用した。

除染作業完了後、作業環境(空気中のダイオキシン類の濃度測定)及び、ダイオキシン類の付着物確認試験を行い、産業廃棄物処理法の判定基準値以下であったことから、次工程の解体作業へ移行しました。

除染作業にて発生した汚染物等は、適切な施設にて処分を行いました。



設備内除染の状態



設備内除染の状態



設備内除染前の状態



設備内除染後の状態

### 3. 今後の工程

屋内機械設備完了後、焼却工場棟建屋の解体に移行します。解体作業は、大型重機を使用して、散水により粉じんの抑制を行いながら、壁面等の崩壊・倒壊事故に注意して作業します。建屋解体と併行に外周の養生足場も撤去します。

屋外設備の触媒反応塔は、上部5m程度をクレーン作業により撤去・解体します。その後、焼却工場棟と併行して大型重機による機械解体となります。建屋解体と同様、粉じんの抑制を行いながら撤去します。

現場周辺の環境測定（粉じん濃度及び騒音・振動）は、引き続き連続監視装置にて常時測定を行います。

建屋解体（上屋部）作業完了後、建物下の土壌調査を行い、土壌汚染の有無を確認します。

基礎部解体・撤去後、埋戻し（土壌汚染が確認されたら土壌置換）後、周辺法面の土壌置換を行います。



煙突解体の様子



煙突解体の様子

・旧クリーンセンター解体工事概略工程表

項目	平成28年		平成29年												平成30年	
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
準備工・事前調査																
解体(粗大・資源化)																
除染・確認調査																
解体(焼却)																
土壌汚染調査・汚染除去																
埋戻し・整地																
解体(管理棟・外構)																
確認調査																



屋内設備の解体状態



屋内設備（金属片）の搬出状態

## 【煙突・触媒工区】: 廃棄物処分に伴う測定

除染後の汚染物(金属片)のサンプリング調査測定(重金属及びダイオキシン類濃度)

試験項目	測定結果	管理基準値	判定
アルキル水銀化合物 (mg/L)	不検出	不検出	OK
水銀又はその化合物 (mg/L)	0.0005未満	0.005	OK
カドミウム又はその化合物 (mg/L)	0.001未満	0.09	OK
鉛又はその化合物 (mg/L)	0.01未満	0.3	OK
六価クロム又はその化合物 (mg/L)	0.04未満	1.5	OK
砒素又はその化合物 (mg/L)	0.005未満	0.3	OK
セレン又はその化合物 (mg/L)	0.002未満	0.3	OK
1,4-ジオキサン (mg/L)	0.05未満	0.5	OK

※基準値は、廃棄物処理法の溶出試験8項目の判定基準である。

試験項目	測定結果	管理基準値	判定
ダイオキシン類	0.011ng-TEQ/g	3.0ng-TEQ/g	OK

※基準値の3.0ng-TEQ/gは、廃棄物処理法の判定基準である。

以上の結果から、煙突及び触媒反応塔の金属類は、通常の金属類の処分方法で行う。

## 【炉室工区】: 廃棄物処分に伴う測定

除染後の汚染物のサンプリング調査測定(重金属及びダイオキシン類濃度)

汚染物(除染後)の重金属類(8項目)及びダイオキシン類濃度測定結果一覧表

																※ 基準値は、廃棄物処理法による	
検査の対象	単位	基準値	1号焼却炉内 耐火レンガ		1号焼却炉内 キャストブル		2号焼却炉内 耐火レンガ		2号焼却炉内 キャストブル		1号ガス冷却室 キャストブル		2号ガス冷却室 キャストブル		煙道部金属片		
			検査の結果	判定	検査の結果	判定	検査の結果	判定	検査の結果	判定	検査の結果	判定	検査の結果	判定	検査の結果	判定	
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	不検出	○	不検出	○	不検出	○	不検出	○	不検出	○	不検出	○	不検出	○	
水銀又はその化合物	mg/L	0.005	0.0005未満	○	0.0005未満	○	0.0005未満	○	0.0005未満	○	0.0005未満	○	0.0005未満	○	0.0005未満	○	
カドミウム又はその化合物	mg/L	0.09	0.001未満	○	0.001未満	○	0.001未満	○	0.001未満	○	0.001未満	○	0.001未満	○	0.001未満	○	
鉛又はその化合物	mg/L	0.3	0.01未満	○	0.01未満	○	0.01未満	○	0.01未満	○	0.01未満	○	0.03	○	0.01未満	○	
六価クロム化合物	mg/L	1.5	0.04未満	○	0.04未満	○	0.04未満	○	0.04未満	○	0.52	○	0.04未満	○	0.04未満	○	
砒素又はその化合物	mg/L	0.3	0.005未満	○	0.005未満	○	0.005未満	○	0.005未満	○	0.005未満	○	0.005未満	○	0.005未満	○	
セレン又はその化合物	mg/L	0.3	0.002未満	○	0.002未満	○	0.002未満	○	0.002未満	○	0.002未満	○	0.002未満	○	0.002未満	○	
1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	0.05未満	○	0.05未満	○	0.05未満	○	0.05未満	○	0.05未満	○	0.05未満	○	0.05未満	○	
以上重金属8項目																	
含水率	%	—	2.5	—	9	—	1.6	—	21.2	—	5.3	—	4.5	—	1.0未満	—	
ダイオキシン類	ngTEQ/g	3	0	○	0	○	0	○	0	○	0.19	○	0.0095	○	0	○	
判 別			廃棄物		廃棄物		廃棄物		廃棄物		廃棄物		廃棄物		廃棄物		

以上の結果から、炉室内の廃棄物は、通常の産業廃棄物として処分を行う。